

水質の感覚的評価と浄化方策 第9回ワークショップ 議事録(案)

日時:平成18年10月18日(水曜日) 午後6時30分～午後9時

場所:中部大学鶴舞キャンパス 610 講義室

参加者:石黒, 井上, 近藤, 杉浦, 杉山, 武田, 田中, 富永, 中島, 原田, 吉田, 山田, 名城大学生

議事

1. 第8回の議事録の確認が行われた。
2. 8月25日のなおいに関する調査結果が報告された。調査結果を示せば以下のようなものである。

なおいの強さ

五条橋, 日置橋, 御陵橋, 新田幡橋の順でなおい。

なおいの種類

全ての橋でドブのなおいの回答が多い, 次に, ゴミのなおい, ゆで卵のなおいが挙がっていた。

なおいを嗅ぎながらできること

五条橋や日置橋では, 我慢できないと答えた人が全体の3割以上を占めていた。

なおいが単一か混合か

全体的に単一のなおいと答えた人が多かった。新田幡橋と日置橋は混合したなおいという人も目立った。ドブのなおい+ゴミのなおい, またはゆで卵のなおいだと考えられる。

なおい時期

五条橋, 日置橋, 御陵橋は雨の日になおいが増すと答えた人が多く見られる。他にも夏場, 良くなおいと回答も多く, 気温が高く湿度も高い時になおいが増すのではないかと考えられる。干潮時になおいと答えた人もみられた。そのことから川の水自体がなおいというよりは, 川べりに付いたヘドロなどがなおいのではないかと考えられる。

3. 9月24日のなおいに関する調査結果

9月24日の調査概要・結果が説明された。得られた結果は以下のとおりである。

- すべての橋でドブ臭が感じられた。
- 9月24日にはなおいが強くなかった。(堀川は常時臭いというわけではない。)
- 宮の渡し～朝日橋において, 上流の方が不快と感じている。
- におい強度, 快適・不快, 活用形態と水質項目(Ph, DO, 塩分, COD, 水温, 透明度)の関係は, 相関が高いもの(塩分, PH, 水温などは相関係数0.7)もみられたが, それらは上流下流の特徴が反映されているものと考えられる。
- におい強度と快適・不快, 活用形態は強い相関があり, におい強度が強ければ, 快適・不快, 活用形態の数値も低下する(悪い方へ評価値が移る)ことが示された。
- においマップの作成を試み, 一つの作成方法を示した。

4. 今後の活動について

水質・におい

今後も継続して調査することが大事であり, その場合, 共通のシートを作成すると良い。

年変動, 季節変動, 日変動など様々な現象が複合している堀川の水質を考える場合には, 多地

点，多時間の観測を実施する必要がある．例えば，加藤ビルなどの係りの人など常に堀川のそばにいる人に調査してもらうことはできないか？

ゴミ

名古屋市上下水道局では，ゴミキャッチャーの運用を始めた．機会をみて集められたゴミのモニタリングおよび検討を第3グループで実施していただきたい．

5. 第8回会議の日程調整

今回は，11月15日（水曜日）18：30～21：00に中部大学鶴舞キャンパス609講義室で行う．

6. 宿題

今後，どのような活動が望まれるか？

提言的なものでも良いし，実際の調査・活動でも良い．